

第6回江東区長期計画策定会議 意見メモ一覧

No	施策No	委員名	策定会議	意見メモ	種別	内容（転記）
1	1	植田委員		○	意見	これまでの区取組・現状について。学校の芝生化については取り組んでいなかったのではなかったか。推進しているという表現が誤解をまねく。芝生化ではなく、屋上や壁面緑化ということを推進しているのであれば、あえてここで学校校庭芝生化に触れる必要はないと思う。もう少し、実態に即した記述をしてほしい。
2	1	植田委員		○	意見	区の課題について。意見としては、もう少し、「広報の充実」「よい実践の普及」ということがあったのではないか。そのあたりの記述をもっと前面に出した内容にすべき。みんなでつくるために、誰が何をこれからの10年間でやるのかが見える内容にすべき。
3	1	植田委員		○	意見	取組方針2について。何を推進するのかという内容を書く必要があるのではないか。緑化と言っても色々ある。江東区としての緑化の方向性は何かを示す必要がある。
4	1	内海委員		○	意見	取組方針1で重要と言っている部分について。「C I Gを実現するためには、緑の活動や緑に関する～が重要です。また、区民・事業者・区が連携・協働していくことが必要となり、民間活力を活かした～仕組みづくり等が求められます。」等と課題にまとめてどうか。
5	1	内海委員		○	意見	取組方針1について。課題で緑の魅力や大切さを知ってもらうことの重要性を記載した上で「C I Gの実現に向けて、『みどりのコミュニティづくり講座』への関心を高め、コミュニティガーデン活動～仕組みづくりを推進し、緑の魅力や大切さを知ってもらえるようにします。」等としてはどうか。
6	2	植田委員		○	意見	取組方針1について。小中学生への環境啓発の重視として、継続的な環境保全活動をサポートするとありますが、小中学生であれば、学校教育との関係性（学校の環境教育との関係）も視野に入れた記述があってもよいのではないかと。
7	4	植田委員		○	意見	施策実現に関する指標について。「完了割合」とは、指導検査の基準に達した施設の割合を示しているのか。それとも実施した数を示しているのか。もし後者であるならば、質の改善を目指す取組2の指標としては適さないと思う。
9	4	内海委員		○	意見	取組方針1について。保育所の入園申込みにあったっては、区や施設の設定する条件に合わせた記載となるため、その家庭状況が望む最善の条件についても、需要把握、参考として記載してもらってはどうか。
10	6	植田委員		○	意見	施策6について。新学習指導要領に関連した記述が明確になり、教員の研修についてもふれているのがよいと思う。その上で、これらとの関係で、新学習指導要領で求められている資質・能力を子供たちに身につけさせるために、江東区としてどのような教育をどのようにして展開していくのかというプロセスがもっと明確に示されるべきである。知徳体にこだわらずもっと柔軟に考えて欲しい。
11	6	植田委員		○	意見	取組方針3について。これからの江東区の教員にはどのような資質・能力を求めていくのかという方向性を示した上で、どのような研修をどのように行っていくのか、その質をどのように維持管理していくのかという視点からの研修等の構造を示して欲しい。一般的な表現での指導力の向上をはかりません。研修体制を整備しますというのでは意味がありません。働き方改革についても、通り一辺倒のことで意味がありません。これから10年の中では重要な課題になっていくと思いますので、もっと明確なビジョンを示して欲しい。
12	6	内海委員		○	意見	取組方針2について。「自己肯定感を高める取組み」「自分の可能性に最大限チャレンジできる心」には、失敗することは当然であり、学校はそれをどう乗り越え、楽しみに変えていけるかを練習、学ぶ場であるということも必要であり、これから求められる能力と思われるが、加えてはどうか。

No	施策No	委員名	策定会議	意見メモ	種別	内容（転記）
13	7	植田委員		○	意見	施策7について。この項目では、特別支援教育、いじめ・不登校対応、地域学校協働活動、情報化、冷暖房完備等の施設設備といった多岐にわたる内容になっています。もう少し整理した方がよいのではないかと。教育環境のハード面に特化し、情報化と施設設備といったことに特化した方が記述としてわかりやすい。「特別支援教育は福祉の部分」「いじめ・不登校は学校教育の部分」「地域学校協働活動は地域づくりの部分」とそれぞれに関連しているので、その部分との関連で取り込めば良いのではないかと。
14	7	植田委員		○	意見	取組1について。特別支援教室支援完了者の割合を指標にすることの意味がまだわからない。支援の推進ということが目標であれば、もっと違う指標を考えるべきではないかと。
15	7	植田委員		○	意見	取組方針1について。特別支援教育は、チーム学校の議論や働き方改革との関係で重要なことである。もう少しそのような視点からの記述もいれておかなければ、具体的な取組は見えてこない。
16	7	植田委員		○	意見	取組方針1について。これからの方向性としては、合理的な配慮ということが重要な視点として文科省からも示されているので、そのあたりのこととも関連した方向性を示しておくべきである。
17	7	植田委員		○	意見	取組方針4について。Society5.0やEdThechなど、これからの学校教育を取り巻くICTを含めた情報革命は今まで以上だと思えます。そのことを踏まえた記述である必要があります。それにどう対応していくのか。限られた予算の中で、何をどこまで実行し、どのような能力をどのように子供たちにつけるのか、どこまで学校教育や教員に求めていくのかということを確認にしたい。
18	8	植田委員		○	意見	取組方針1について。これから先の10年も「きつずクラブ」のことだけでよいのか。児童館の見直しということと、0歳から19歳という視点が出ているのであれば、次の青少年教育との関連も視野に入れた新たな視点での居場所づくりということも必要。
19	8	植田委員		○	意見	取組方針1について。地域学校支援本部事業を明確に打ち出したのであれば、この項目はまさにその事業の内容になるものなので、そのような趣旨で記述すべきではないかと。
20	8	植田委員		○	意見	取組方針2について。こども110番のことがあげられているが、実際として十分に普及できていないし、これからも難しい状況を考えてももっと違う視点からのアプローチが必要である。なぜ、こども110番にこだわるのか。
21	9	植田委員		○	意見	取組方針1について。青少年交流プラザが全面に出てくるのはなぜか？これから10年間もそれにこだわるのか。指標としても利用者数が上がっているのが、社会状況の変化を考えるともう少し違ったアプローチを考えるべきである。今ある施策や事業、施設ありきで考えるのは無理がある。
22	9	植田委員		○	意見	取組方針2について。これは他の項目と関わる部分もあるのに、もう少し他の施策との関係で検討すべき。
24	10	植田委員		○	意見	取組方針1について。個別事業者への支援を行政が行うことの意味は、それらが活性化し、つながり、地域の核になることで、区民が安心して暮らすことができる基盤ができるからとすることを明確にメッセージとして伝えるべきだし、そのことがわかるような取組の方針と具体的な取組内容、そしてその活動の成果がはかられるような指標にすべきである。今のままでは、個別事業者への支援が中心に見える。

No	施策No	委員名	策定会議	意見メモ	種別	内容（転記）
25	10	内海委員		○	意見	取組方針1について。会議でお話にあったシリコンバレーを是非、江東区で目指していただき、全国、世界から有能な人達が集まり、子供たちが目指せる、夢を持って実現できる環境を作っていただきたい。 例えば、やんちゃでクラスでは困った存在だけど算数が大好きな小学生男子が、江東区にある世界に通じる大学を目指し進学、江東区の企業に就職したり起業して、日本、世界中の困っている人達の役に立つような技術や製品を開発、江東区の発展を支えてくれる存在となり、自分が育った江東区で自分を活かし、夢を果たす！というような江東区での可能性、将来へのストーリーが描かれ、実現できたら素晴らしいと思う。
27	11	植田委員		○	意見	「施策11タイトル」について。細かなことですが、「地域コミュニティ」という言葉の定義をこのようにしたのであれば、本文中の言葉の使い方も正確にすべきです。地域コミュニティ団体やコミュニティ活動という言葉がありますが、それぞれ正確に記述してください。
28	11	植田委員		○	意見	取組方針全体について。地域コミュニティの活動は、自律した区民の団体として重要な存在であり、地域づくりの活動において重要な存在であると思います。それ故に、これは様々な施策の土台になる部分であると思います。そのような視点で、各施策との関係や、各施策における記述をしておくべきではないでしょうか。
29	11	植田委員		○	意見	取組方針2について。環境整備が公的な施設の利用ということには違和感を感じます。 町内会だけでなく、地域住民が主体として組織するNPOなども地域コミュニティの中に入れるのであれば、もっと多様な環境整備が必要ではないでしょうか。 町内会や自治会ありきということではなく、もっと多様な基盤づくりということを考えて、施策を考えるべきだと思います。 その上で、町内会や自治会をどのように位置付けていくのかを考えていくべきではないでしょうか。
30	11	内海委員		○	意見	取組方針1について。小・中・高校の卒業生及び保護者との卒業後の継続的なつながり、支援がされる、図られると良いように思う。
31	11	内海委員		○	意見	取組方針1について。中・高・大学生・若年層が担い手となるような工夫がされ、成功例があれば周知し、成功例が増えると良いように思う。
32	11	内海委員		○	意見	取組方針1について。現在住んでいるマンションは770世帯、30年以上経ち、高齢化も進んでいるが、高齢者の方を中心に課題解決、コミュニティ形成に努力がされており、高齢者の集いの場づくり、多世代交流の場づくり、花壇の世話活動を目的とした3団体が江東区社会福祉協議会に登録、災害協力隊も結成されており、担い手の重要性を感じている。このようなコミュニティ形成についての事例を紹介し、学んだり検討し合い、成功事例や担い手を増やしてはどうか。
33	11	内海委員		○	意見	取組方針1について。会議でお話にあったが、コミュニティ毎に異なる状況に対して、主体性を求め、期待するに留まらず、それを促すような更なる支援、細やかなサポートが必要、望まれており、急ぐべきと思う。まずは区として、支援についての需要、内容等を確認して現状を把握してはどうか。
34	11	内海委員		○	意見	取組方針1について。現在のコミュニティ活動の多くは高齢者の主体性により保たれているが、いずれは人口減少が始まり、共働きが当たり前、高齢になっても働かざるを得ない状況となっていく、活動条件は益々厳しく、主体性に頼ったコミュニティ活動は難しくなっていくと思われる。そのような状況を想定した活動の在り方、会議でもお話しがあったポイント制等の工夫を今から検討、実践していくべきと思うがいかがか。
35	12	植田委員		○	意見	取組方針2について。審議会への女性の参加率ということがこれから10年間の指標としても維持されることに違和感を感じます。

No	施策No	委員名	策定会議	意見メモ	種別	内容（転記）
36	12	植田委員		○	意見	取組方針1について。江東区が考えるダイバーシティのある社会とは何かのイメージが、これらの取組方針で伝わってきません。 江東区が考えるダイバーシティのある社会を作るために、区は何をするのですか？これから10年間の社会がどのような社会となっているのかを考えた上で、区がすべきことを記述して欲しいです。
37	12	内海委員		○	意見	取組方針1について。多様性を認め合うには、当事者からの具体的な意見集約、状況、情報の共有、共感されることが重要と思う。個別の相談対応、講座開催、キャンペーン、一部の人達による人権についての活動及び支援に留まっていたり、小中学生への教育に頼るだけでなく、Webや広報を通じてそれを周知し、意識を高める工夫をしていった方が良いように思う。 また、学校教育では多様性が認められ、学んだとしても、世代間や家庭での生活、社会という場では認められない、認められていないというようなギャップや喪失感を子ども達が味わうことのないよう、大人への意識改革こそ徹底されるべきと思う。
38	13	植田委員		○	意見	取組方針1について。他の施策にある、スポーツ振興や健康教育のところとも関係する施策である。そのあたりの関連性はどのように捉えているのか。 生涯学習との関係で言えば、地域学校支援協働活動との関連も視野に入れるべきなので、そのあたりの関係をどのように捉えているのか。
39	13	植田委員		○	意見	取組方針2について。図書館だけでなく、生涯学習の場はいっぱい区内にはあるはずである。もう少し幅広い視点で生涯学習の場を考えて欲しい。また、目に見える場だけではなく生涯学習の場（ネット上のもの）もある。そのような状況への対応（情報機器に不慣れな人たちへの支援など）もこれからの施策では考えなければならぬ。
40	13	内海委員		○	意見	取組方針1について。ある図書館では、蔵書のフル開架及び本に囲まれた空間づくり、関心の高い雑誌の増冊、また民間の力を借りた年中無休、9～21時の開館、本の販売及び菓カードのポイントや図書カードの使用、本を自由に読めるカフェの併設等を実施してサービスの向上、コスト削減につなげ、入館者を3.5倍にしたとのことだが、参考にしたり、取り入れてみてはどうか。
41	14	植田委員		○	意見	施策14について。なぜ区が区民のスポーツを楽しむことに税金を投入するのかということの説明が必要である。個人でスポーツを楽しんでいる人もいっぱいいる。その中で、区がなぜ関わるのか、どの部分に関わるのか、そのことが区や区民にどのような利益をもたらすのかということを明確にした上で施策を展開しなければいけない。 またこの部分は、生涯学習の部分と関わる部分が大きいので、個別の施策として独立させる必要があるのかも疑問である。
42	15	植田委員		○	意見	取組方針1について。施設等の活用だけでなく、人材育成という視点も入れて欲しい。 その意味では、地域学校支援協働活動との関係で、学校教育の中で取組を組み込み、地域の伝統や歴史を継承していく子供たちの意識付けと具体的な取り組みをしていくことを考えていくことも一つの方法である。
43	16	植田委員		○	意見	「目指す姿」について。子育て支援の施策との関係や連続性、継続性という視点からの施策の展開を意識した記述になって欲しい。 母子教育→子育て支援→安心・安全な子育て環境→青少年教育という、0歳から19歳までの子どもの育ちを一貫して施策にしていくことも一つの考え方ではないか。 江東区にすれば、0歳から19歳までの一貫した子どもの育ちの支援が受けられるというメッセージを発するような施策の展開を期待したい。

No	施策No	委員名	策定会議	意見メモ	種別	内容（転記）
44	16	植田委員		○	意見	取組方針2について。子どもの育ちの情報が、子どもの育ちに関わる関係者や学校関係者にちゃんと伝わり、子どもへの支援にちゃんとつながるような仕組み作りとちゃんと機能するような人的な配置を期待したい。仕組みとしてあっても、実際にはきちんと機能していないことが報道等で伝えられているように思う。仕組みまでは整備されていることがわかるがそれがちゃんと機能していくための仕掛けと人的な配置、活動のチェック機能も視野に入れた取組にして欲しい。
45	17	植田委員		○	意見	「目指す姿」について。検診などは個人に依存する部分も大きい。なぜ区が、どの部分に、どこまで区が関わるのかという部分の説明と、区がすべきことへの重点的な取組を根拠理由と共に説明する必要がある。
46	19	植田委員		○	意見	取組方針1について。この項目は、生涯学習のところに持って行ってもよいのではないかな。
47	21	植田委員		○	意見	施策21について。「地域包括ケアシステム」という文言の下に、高齢者や障害者への支援の部分が一括してまとめていいのではないかな。地域包括ケアシステムの確立という項目にして、その対象は、高齢者と障害者などとし、それぞれへの取組はこれとこれという形で整理した方がわかりやすいし、区民には区がこれから地域包括ケアシステムというものをつくり、それにはだれがどのように関わり、どのような活動を区民にしてくれるのかを記載すればわかりやすいと思います。
48	22	植田委員		○	意見	取組方針1について。これは水辺と緑の街づくりのところにいれるべきではないかな。区民と共に、水辺と緑を生かした街づくりをしていくというのが施策1のコンセプトであるので、そのこととここでの取組方針の2、3は関係しているように思う。
49	22	植田委員		○	意見	取組方針2について。この部分は、水辺と緑の項目に移すべきではないかな。
50	22	植田委員		○	意見	取組方針4について。これはダイバーシティ社会の実現の項目に入れるべきではないかな。
51	24	植田委員		○	意見	取組方針1について。前の施策の取組方針の1の計画的な街づくりということはここに移してもよいのではないかな。計画的な街づくりの方針の下に、ここで取り上げられている取組方針が位置づくと思うので。
52	26	植田委員		○	意見	取組方針2について。地域学校支援協働活動と学校運営協議会との関係もここでふれるべきではないかな。避難所の多くは学校であり、これらの活動と関連させることで、持続可能な仕組みを整備する基盤ができる。
53	27	植田委員		○	意見	取組方針1について。関係機関の連携協働やそのための縦割り行政ではない施策の展開ということを意識して欲しい。そうしないと、各部署が自分たちの予算を確保し、その事業を着実に実施することに主眼がおかれてしまいかねない。何を実現するためにこの事業が展開されているのかということを常に意識付けさせるような全体像とルートマップを示したようなものを作成し、それに基づく活動の進捗管理を政策経営部が責任を持って行って欲しい。
54	実現Ⅰ	内海委員		○	意見	取組方針1について。価値観の多様化、仕事や介護、育児等忙しい日々を送っている区民等に対する周知、促進等に当たっては、効果的に行われるよう工夫、検討していただきたい。
55	実現Ⅰ	内海委員		○	意見	取組方針1について。『区民アンケート』についても、調査忌避の減少を図って、内容、方法等について更なる検討を行い、より多くの区民の状況を把握し、区政に反映できると良いように思う。
56	実現Ⅰ	内海委員		○	意見	取組方針1について。調査・分析に当たっては、多岐に渡る、顕在化されていない課題の発見、解決がされるような工夫、検討をしていただきたい。
57	実現Ⅱ	内海委員		○	意見	取組方針5について。「広い視野と『意欲・スピード・思いやり』を持って意欲的に取り組み」の「意欲的に」は、二重表現になっているのでなくてもよいように思う。